

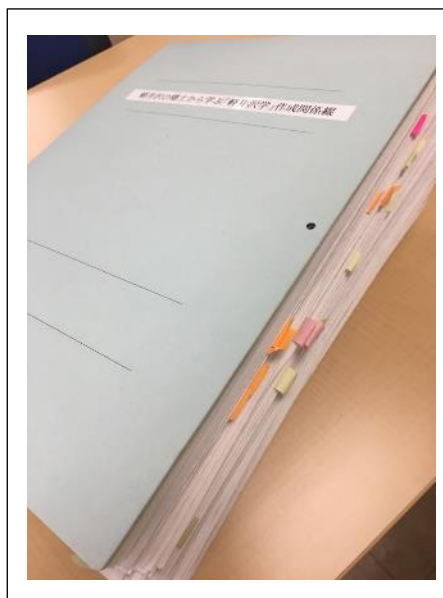
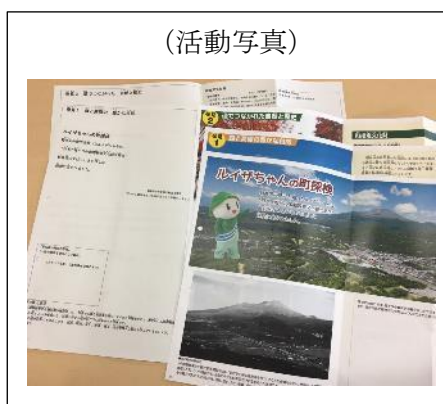
平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	『軽井沢の郷土から学ぶ「軽井沢学」』作成事業
事業主体 (連絡先)	軽井沢町 担当課連絡先：長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉 2353 番地 1 電話 0267-45-8672 軽井沢町教育委員会学校教育係
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,916,000 円 (うち支援金：2,187,000 円)

事業内容

実施時期	平成28年6月上旬～8月中旬：編集委員会等にて原稿内容検討⇒8月中旬：随意契約により印刷会社へ業務委託契約⇒8月下旬～平成29年2月中旬：原稿校正⇒2月下旬：発行
実施場所	軽井沢町内3小学校（東部・中部・西部小学校）他
実施対象	町内3小学校児童（約1,000名） 教職員・関係者・町施設等（約1,000名）
方法	<p>内容は以下の「こぶし教育」の理念に基づき作成。具体的には、平成25年7月に発行された「軽井沢町勢要覧2013」をイメージし、小学生にも分かりやすい教材とした。作成に当たっては、町教育委員会教育委員や小学校長を中心とした編集委員会の意見を踏まえ、内容を検討していった。また、「軽井沢学」へ繋がるよう、町内事業者や関係機関等について、写真を交え紹介するといった工夫も凝らした。</p> <p>作成後は、平成28年度3学期に町内3小学校へ配付。配付に際しては、校長及び教頭会で紹介したり、教職員と既存の単元や授業のどこで使用できるか具体例を相談する等、有効活用してもらえるようにした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 こころ豊かに：「人」「物」「環境」への思いやりを備えた人の育成に努める。 2 ぶんかを育て：国際親善文化観光都市にふさわしい人の育成に努める。 3 しぜんを愛する：軽井沢の自然を愛し、自然環境を守り続ける人の育成に努める。

(活動写真)



【原稿校正の記録】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 各統計データ及び資料の数値が更新され、児童も新しい情報を知ることができるようになった。また、カラー刷り及び写真やイラスト等の挿入によって、児童もより楽しく、分かりやすく「軽井沢学」を学べると考えられる。
- ② 教材前半は軽井沢町の歴史について、後半は“ルイザちゃんの町探検”と題し、文化を学べる内容となっている。こちらにはフリースペースを設け、自分の考えを書き込んだり、フィールドワークで調べたことを他児と共有できるようになっており、将来の軽井沢を担う「軽井沢っ子」育成のためのより深い学びへ繋がることを期待される。

【目標・ねらい】

- ① 児童らが軽井沢町の基礎知識を身につけることができる。
- ② 児童らが軽井沢町の歴史や文化を学ぶことを通して、伝統文化を受け継いでいこうとする心の育成に繋げる。

※自己評価【B】

【理由】

町教育委員会教育委員や小学校長を中心とした編集委員会の協力により、児童はもちろん、他市町村から軽井沢町へ異動してくる教職員に対しても、軽井沢町の文化や歴史を学ぶ機会となる良い教材が完成した。

加えて、ALTの協力もあり、本文の英訳は中学生以上の生徒にとっても読み応えのある内容となり、より幅広い年齢層を対象にできた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も引き続き小学校の社会科や総合的な学習の時間において、「軽井沢学」を学ぶ機会として活用してもらおう。そこで、児童が軽井沢町の歴史や文化を知り、その学びを通してグローバル社会にも対応できる人材育成が期待される。

また、小学校卒業後も活用してもらえよう、軽井沢町内中学校及び高校の図書室にも所蔵し、小中高連携へ繋げたい。さらに、町立図書館に所蔵したことで、町民はもちろん、観光客等にも軽井沢町を知る機会としてもらう等、活用の幅を広げていきたい。

なお、各統計データ及び資料については、今後も一定期間ごとに改訂版を作成し、更新していくものとする。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある